

## (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

### (認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

#### 令和7年度 第5回運営推進会議 議事録

日 時：令和 7年 12月 18日 (木)

時 間：10:00~11:00

開催場所：櫻ホーム西神 4F 多目的室

出席者：別紙参照

#### 1 自己紹介・あいさつ

(1) 出席者と参加者の自己紹介

(2) 施設長挨拶：本日は年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は法人本部より統括が参加しております。1月に押部谷福祉センターで認知症サポーターとして講師をさせていただくことになっています。地域で認知症についてのお話をさせていただきますので、よろしければご参加ください。本日もよろしく願いいたします。

#### 2 事業運営に係るご報告

以下、別紙(令和7年度第5回運営推進会議櫻ホーム西神)をもとに説明を行った。

##### (1) (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

###### ① 稼働率 (P4)

資料に沿って現状の説明を行う。

ユニット型 10月 96.13%、11月 94.50%。地域密着型 10月 99.03%、11月 98.83%。合算 10月 97.19%、11月 95.57%。ショート合算 10月 98.06%、11月 97.33%。

空床ショート利用率 10月 28.12% 11月 40.15%と目標 40%に対して11月は目標達成している。

###### ② ご入居者の概要 (P5~6)

資料に沿って説明を行う。

地域別では、地域密着型は神戸市在住の方のみとなっている。ユニット型は神戸市の方が49名と多く、次いで三木市の方となっている。平均介護度はユニット 3.93、多床室 3.50となっている。

全国平均について記載させていただいている。(ユニット 3.9、従来型 3.98)

入居申し込み状況 (P7)

資料に沿って説明を行う。

12/1時点で、ユニット型 男性1名・女性2名、地域密着型 男性1名・女性2名(現在ユニットで待機)の待機者となっている。待機者の平均介護度はユニット 3.0、多床室 4.0。平均年齢はユニット 85.3歳、多床室 79.4歳となっている。

###### ③ 感染報告 (P8~9)

資料に沿って説明を行う。

入居者12名、職員6名の感染があった。感染者の内、サザンカユニットで1名の方が入院、多床室では2名の方が入院された。12/10で終息している。

12/12に感染時の対応の振り返りを行い、物品管理などの課題があった。12/22に再度マニュアルの

見直し、整備を行う。西保健センターに報告し、後日、保健所の方が来られ結果の報告をしている。年末年始にかけてインフルエンザだけでなくコロナ感染にも注意し、できる限り防いでいきたい。

④ 職員の動向 (P10)

資料に沿って説明を行う。

10月・11月の退職者はなし。11月に介護正規職員1名入職している。

⑤ 事故・苦情の発生状況と詳細 (P11~14)

資料に沿って説明を行う。

(P11) 10月11件の事故があった。10/14 膝折れによる転倒があった。10/15 リビングでの転落による骨折。10/30 居室での転倒、骨折があった。対応策として、スライディングボードを使用し移乗介助している。

(P12) 10月6件のヒヤリハットがあった。転倒・転落のリスクあり、眠りスキャンを活用し訪室する。眠りスキャンについて、眠りの質を図る機器で、データがパソコン画面とスタッフが携行しているスマホに連動している。

(P13) 11月12件の事故があった。11/9 面会時の椅子を片付けていなかったために、転倒の原因となった。11/28 歩行器を持たずに立ち上がり転倒があった。11/30 下剤を使用していたため自分でトイレに行こうとし、ベッドからの転落があった。

(P14) 11月10件のヒヤリハットがあった。11/13居室での転倒リスクがあった。歩行器を持たず何度か転倒している。11/20 服薬時に薬が準備されていなかった。薬の準備の際に声出しによる確認をしていく。11/27 入居者同士で食事介助をしようとしていた。声かけ、見守りを行っていく。

(P15) 入院対策として、また、脱水による転倒を防ぐため、水分摂取1日1200ccを目標としているが、全体平均は1040ccであり目標に達していない。水分摂取困難な入居者に対する支援方法についてユニット内で検討を進めていく。個別で水分量、採血データを確認し、家族とともに対策を検討していく。

⑥ イベント内容報告 (P16~18)

写真で紹介する。各ユニットで家族と一緒に食事を取り、その後ユニットごとの家族会を開催している。

(P16) 10/18 バラユニットで串カツをした。家族と一緒に準備から行った。家族、入居者とも好評であった。

(P17) 10/11 月が丘小学校でのふれあい運動会に参加した。

(P18) 11/8 秋祭りの様子を紹介する。屋上で太鼓の演奏をしていただき、入居者も感動されていた。家族にもたくさん参加していただいた。日常とは違い刺激になった。事故もなく、家族にも喜んでいただけた。地域の方にご協力いただき、ありがとうございました。今年度は地域の行事と日程が重なってしまったため、次年度は早めに予定したい。今後ともよろしくお願ひします。

この他に、日本の高齢者施設を学びたいということで、兵庫大学を通じてドイツから20名の方が施設見学に来られた。他国の方との交流は介護施設ではあまりないので、いい機会となった。ホームページに上げるので、見ていただきたい。

⑦ 研修・委員会活動 (P19)

資料に沿って説明を行う。

内部研修では看取り・倫理の研修、感染予防の研修を行った。外部研修として認知症実践者研修を受講している。

(2) デイサービスセンターさくらさく (P21~28)

資料に沿って、以下の内容を報告する。

① 利用状況 (P22)

登録者数は 28 名 (男性 9 名、女性 19 名)、平均介護度は 2.0、平均年齢は 84.0 歳となっている。女性の利用者の割合が高い。

② ご利用者概要について (P23)

表を用いて地区別、回数別、要介護度別の利用状況を説明する。地区では押部谷が多く、回数は週 2～3 回の方が中心。要介護度は 1～3 となっている。要介護 4、5 の方の利用はない。予防の方が 1 名、週 2 回利用されている。

③ 稼働率について (P24)

目標 75% に対して、10 月 88.6%、11 月 91.3%。4 月～11 月全て目標を達成している。

④ 事故の発生・苦情状況と詳細 (P25)

11 月ヒヤリハットが 1 件あった。送迎介助時の事故にならないよう気を付けていく。

⑤ イベントと活動内容報告 (P26)

写真で紹介する。

秋祭り参加、三木防災公園での紅葉狩り、ボランティアの演奏会、福祉ネイルの様子を報告する。

⑥ 認知症カフェの開催・地域活動 (P27)

介護相談、フレイル予防体操など今後もイベントを企画している。来月は施設長が講師となり認知症サポーター養成講座がある。次回はビンゴ大会を予定しており 25 名分の景品を準備させていた  
だいている。小学生の冬休み中ということで、小学生にも参加していただくと思っている。保護  
者の方から申し込みしていただくようお願いしている。ぜひご参加ください。ブログ、ホームペ  
ージに写真を掲載し、引き続きさくらカフェの紹介もしていきたい。わんぱく子ども会にも呼び  
掛けたい。

⑦ その他 (P28)

介護保険外サービス費用について、変更なし。

### 3 その他 (質疑応答)

(1) A 委員：事故報告で眠りスキャンを活用していくとのことだが、全床設置されているのか。

【回答】転倒リスクの高い方、看取りの方を優先に 65 床設置している。今後は残りの 35 床も導  
入予定。

(2) B 委員：ふれあい運動会ではゲームを担当していただいて、ありがとうございます。今後もぜひよ  
ろしくお願いします。こちらも施設の行事に協力させていただく。イベントでは入居者、家族も楽  
しそうな様子が伝わる。介護度も上がり、認知症も進んで事故の状況などから介護が大変なことは  
察するが、より一層の対策をお願いします。

(3) C 委員：開設して 6 年になるが、地域として関わっている。コロナの時でも対応が早くきっちり  
対策できている。施設の運営そのものが地域との連携がとれている。非常に素晴らしい関係であ  
ると思うが、統括はどのように感じられているか。

【回答】開設当初は課題がたくさんあった。入居者の確保、地域との関係、職員の確保  
など、赤穂で培ってきたものを櫻ホーム西神にフィードバックしてきた。馬場が施設長  
になり、北野課長が地域の窓口となって、地域との関係がより良くなっていると感じて  
いる。桜谷福祉会は地域社会との共生を法人理念としている。地域の方のお力添えがあ  
ったこと。今後ともよろしく申し上げます。

- (4) B委員：さかえ病院がレスパイト病院になったということで、地域で説明会をしていただいた。地域の介護施設と共存できるよう今後も話していきたいと思っているが、さかえ病院に対してどのように対策していくのか。

【回答】医療機関が地域に出てくるというのは、今までにないこと。議論できることは我々としてもありがたい。さかえ病院はレスパイト入院、フェニックスはショートステイ専用居室があり強豪にはなるが、さかえ病院は協力医療機関でもあるので、お互いに共存共栄していける良好な関係を築いていきたいと考えている。

- (5) D委員：櫻ホームと月が丘との関係がうらやましい。桜が丘老人会も人が減っている。集まれる場所もなく、コープが中心となり場所の提供をしていただいている。ふれまちもコープと協力していく。桜が丘の市住には一人暮らしが70名程いる。社協から高齢者が何かできないかとあり、市住を巻き込んで集会所を使用し何かできないか考えている。ボランティアがいないため、馬場さんに何かお願いしたい。

【回答】こちらとしても桜が丘と一緒に何かやっていけたらと思っている。さくらカフェで継続している専門職による健康体操など、閉じこもり防止で出て来ていただければと思っています。よろしくお願いします。

- (6) B委員：さくらカフェのチラシにQRコードがあれば申し込みがしやすくなる。今の時代はそういうのが常識。地域で回覧するので準備していただきたい。入居者も地域行事に参加していただければと思います。車いすの方も盆踊りに参加され、やぐらを見て昔を懐かしんでいる。そのような機会を持ってもらいたい。職員の方には、行事の前日、また当日の朝早くから準備していただいております。

【回答】今後も協力していきたい。施設駐車場周りの伐採にも職員が協力してくれている。地域の方で困っている方がいれば協力していきたいと思っている。

#### 4 最後に

施設課長挨拶：今年もお世話になりました。次回、今年度最後の運営推進会議となります。来年もよろしくお願いいたします。

次回開催予定：令和 8年 2月 19日（木） 10:00~11:00

出席者

(第三者委員)

小川 薫	月が丘自治会 会長
福永 君江	押部谷西民生委員児童委員協議会 会長
納見 年子	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 委員長
道本 彩	押部あんしんすこやかセンター

(櫻ホーム西神・デイサービスセンターさくらさく)

福田 庸二	事務局長 (法人本部)
馬場 宏知	総合施設長
内田創一郎	デイサービスセンターさくらさく管理者
北野 諭士	施設課長
田中 雅臣	介護副主任
辻 典子	介護士
松崎 淳子	施設主任介護支援専門員